



力作多数市民文化祭2022

「飲食店限定 ゆうばりEatsスペシャルクーポン」提案実る!

★くまがい市議の提案が実現★



昨年9月議会の一般質問で、くまがい市議が「先進地域を参考にプレミアムチケットを発行する際、コロナで一番打撃を受けている【飲食店専用チケット】を作り、市としても応援すべきではないか」と提案しました。

市長は「次回チケットを発行する際には検討したい」との答弁でしたが、今年10月のプレミアムチケット販売で【飲食店限定クーポン ゆうばり Eats】が実現しました。

飲食店のみなさんから喜びの声が寄せられています。

…下記の飲食店で利用できます(敬称略)…

- ・イタリアン空 (昭和14番地)
- ・スナック みやさか(本町3丁目68番地)
- ・居酒屋 俺家(本町3丁目71番地)
- ・ユックさかい(本町3丁目309番地)
- ・そば処 吉野家(本町4丁目54番地)
- ・Café & Sweets 和(末広1丁目1番地)
- ・カレーソバ旭(ゆうばり屋台村内)
- ・鶴が亭(ゆうばり屋台村内)
- ・居酒屋 酒道楽(末広1丁目94番地)
- ・(株)うさぎや(鹿の谷1丁目)
- ・喜久屋(若菜11番地)
- ・じじばば食堂(はまなす会館内)
- ・(株)木村新聞店(清水沢1丁目)
- ・居酒屋い(清水沢2丁目)
- ・(有)寿五(清水沢2丁目124番地)
- ・駅前食堂(清水沢3丁目)
- ・お菓子のふじ(清水沢3丁目)
- ・スナック男酌(清水沢清陵町62番地)
- ・食事処 バロン(清水沢清陵町62番地)
- ・志むら菓子舗(清水沢清陵町62番地の7)
- ・そば天国 夕張店(旧南清水沢駅)
- ・カレーハウス朋・ベーカリーめぐみ(南清水沢4丁目)
- ・TK HOUSE ダムカレーのお店(南部新光町)
- ・くるみ食堂(沼ノ沢826番地48)
- ・(有)メイプルタウン(紅葉山526)
- ・居酒屋いわい(紅葉山73)
- ・(有)阿部菓子補(夕張メロード内)

夕張市民文化祭2022は、10月22日から31日まで拠点複合施設で開催されました。

主催は夕張市教育委員会、担当は社会教育係で実施され、会場には文化祭目録がおかれ、出



夕張市民文化祭開催

品者数・総出品数などが記されています。これは担当者の丁寧な思いやりを感じさせるものでした。作品は、個人、4人の会、夕張書道会、一般社団法人ぱれつとふあーむ、夕張美術協会(6名)、押し花サークル(6名)、夕張市社会福祉協議会地域活動センター(1名)、社会福祉法人清光園(22名)、一般社団法人清水沢プロジェクト、市内



りすた文化大賞「百花繚乱」(佐藤美里さん作)

が加約表れ「は多数合押し作多の力作でした。多数の力作でした。りすた文化大賞に選ばれる佐藤美里さんの「百花繚乱」が選ばれ、小林教育長から表彰されています。約400名の方々が参加され、450点の作品が展示されました。

れ者ほみ書へのク今年
のどがが行いてのメーシトは「鑑賞
のみな搬わらセ場者」が準賞
さん出れ、れ、来場者「作者
に時れ、の、者」に「作者
にに約、取、組
渡出70取、組
さ品枚を



秋を彩る イベント各所で

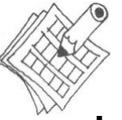
10月16日(日)青空の下、市内各所で秋の催しが開かれました。

南部、「シューパロダム紅葉まつり」は夕張太鼓の勇壮な響きでスタート。
M A S A K O、斉藤かんじ、バーサス等の音楽ステージで盛り上がり出店も盛況でした。
本町では共生型フ



ームで、地元ハンドメイド作家による「か」・「バックまつり」が開催。色とりどりの商品が並び、続々とお客様が訪れていました。滝ノ上は町内会独自の「ほんの小さな紅葉まつり」を。紅葉の中にキッチンカーやテントが立ち並び、地域住民や観光客で大賑わいとなりました。

コロナ禍での行楽、それぞれ感染対策に気を付け工夫してイベントを繋いでいます。



くずさんの 夕張歴史散歩(190)

石炭のはなし (ズリ山) ⑤

臭いものにふた

ズリの埋め立ては、消すに消せない黒い過去までも埋めてしまいました。

当時続出した災害での犠牲者は、多くをこのシンコの沢で焼却されたといえます。

その有様は、坑木を積み上げ遺体に乗せ、ガソリンをかけ露天で焼いたのです。

特に、1938年(昭和13)天龍坑の炭塵爆発によって161名の犠牲者を出した際には、大々的にこの谷あいでは焼かれたことが記録されています。

以来このシンコの沢は、怨念の沢として疎まれてきたと言い伝えられます。

そして、第一新坑は1942年(昭和17)長良坑と名を変え再び採掘し、1953年まで採炭し閉山します。その間にも排出されたズリは、暗い汚点を覆うようにシンコの沢を完全に埋め立ててしまいました。

大夕張もシューパロダムの深い底

1904年(明治40)に開坑し、1990年(平成2)に閉山した三菱炭鉱資本も、災害を続出させ、その残忍な労務管理と共に、ここでも闇の部分が残されています。

北炭が黒い歴史をズリで埋め立てたように、三菱もそのすべてを発掘不可能な湖底に沈めてしまいました。

しかし、事実を消し去ることは出来ません。歴史は埋もれません。

※写真説明 1981年、夕張新炭鉱重大災害で91名の犠牲者が出た。その支援のために、版画家の故「穂積肇」さんが、夕張のたたかいを聞き取り、版画を作成し展示会を開いた。その際の「シンコの沢」をイメージした1枚。



岩淵 友「国会かけある記」
参議院議員

岩淵 友

要求実現と統一地方選挙前進に全力を

10月27日、28日と畠山和也元衆院議員、道議団(真下紀子団長)と道議候補、能登谷繁旭川市議が政府交渉と、北海道農業の危機打開のための緊急要望を藤木真也農水政務官に行い、紙智子参院議員と同席しました。

私は委員会質疑、本会議が重なりましたが、防衛省交渉に参加しました。道内で行われた日米共同訓練に参加したオスプレイについて、担当者は米国が問題はないと言っているから安全だと強弁。事故や落下物が相次ぐオスプレイが今回、住宅地の上空を飛行しました。米国が安全だと言えば安全なのか！。住民の不安に答えようとしない姿勢に不信感が募ります。

経済産業省には大間原発の建設中止や泊原発の廃炉、小樽余市風力発電所建設計画を認めないように求めました。審査が長期化している泊原発は停止して10年余。その間、電力を供給していない泊原発の廃炉を決断すべきです。

各省庁との交渉だけではなく、核のゴミをめぐる問題をはじめ道内のさまざま問題で個別のレクが行われました。地域のみなさんから実態や声を聞き、ともに運動を広げている問題ばかりです。

2日間をフルに活用して、交渉に交渉を重ねる参加者のみなさんから、寄せられた声を届けたい、要求や問題を少しでも前進させたいという熱い思いが伝わってきます。引き続き、道議団、市町村議団と連携して要求実現とともに来春の統一地方選挙前進に全力を尽くす決意です。